

【桜小路野地線道路改良事業】

延岡市 大貫町

○事業目的

本路線は、令和7年度に完成予定であるアスリートタウン延岡アリーナ(新宮崎県体育館)の南側に隣接する2級市道であり、周辺には国土交通省や消防署、税務署等の官公庁施設もあり、また、県体育館は緊急避難所にも指定されていることから、重要な路線となっている。

県体育館の整備により、大規模な集客が見込めるイベント等の開催が可能となり、また近隣には歴史民俗資料館である「延岡城・内藤記念博物館」や旭化成(株)の創業者を称えた「野口遵記念館」も完成し、観光の起爆剤として期待が高まっていることから、観光の振興を展開するための重要な路線としても位置づけられているが、県道稲葉崎平原線との交差点に右折レーンが整備されておらず、交通渋滞が懸念される。

以上の理由により、県体育館の整備に併せて本路線を整備することで、交通の円滑化を図るほか、市内に点在している魅力ある観光資源との連携を図り、周遊型観光はもとより、宿泊を伴う滞在型の推進による観光の産業化を目指すものである。

○箇所概要

実施内容	道路改良1式	L=420.0m
全体	事業費	198.2百万円 (R3~R7)
R3	事業費	13.0百万円 詳細設計
R4	事業費	4.6百万円 用地測量・物件調査・土地鑑定
R5	事業費	62.2百万円 用地買収・道路改良1式
R6	事業費	53.4百万円 道路改良1式
R7	事業費	65.0百万円 道路改良1式

後年度の維持管理経費:「建設後すぐの維持管理費用はありません。

ただし、その後の劣化等により補修が必要になった場合には、随時、補修費用が必要となります。」

